



新年にあたって

東京笹川会 会長 竹内宏夫

新年明けましておめでとうございます。皆様方には、ご家族とともに健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。



さて、「東京笹川会」は、会員相互の親睦と故郷笹川との交流を目的に活動を行っております。

昨年は、8月の諏訪神社例大祭に、当会より5名が参加し、10年ぶりに復活した盆踊りを堪能いたしました。また、当会副会長の長井清武さんのご尽力により、ホームページを立ち上げ、この度は「笹川だより」を発刊することになりました。

今年の3月には「笹川友愛会」旅行への参加も計画いたしております。

今年も「羊質にして虎皮す」に陥らないよう、故郷の皆様と連携を計りながら、活動を充実させていきたいと思っております。

今後も皆様のご協力を、よろしくお願い致します。

【地域の活性化を目指して】

－ ほたる公園にあずまや完成 －



10月25日【あずまや】上棟式で恒例の餅つきが行われた。

10月25日、ほたる公園(笹川トンネルを出て右岸)で笹川自治振興会が進めていた手作りの【あずまや】が完成。

11月15日、披露を兼ねたイベントが開かれました。この日は、白菜やネギ、ジャガイモなど郷里の野菜や特産品が販売され、郷里および隣接の町から大勢の方々が訪れ買い求めました。

また、豚汁が振る舞われ、冷たい風が吹く天候の中、訪れた方々は熱々の豚汁を味わっていました。

今、春には山菜、花木などを栽培するふれあい農園の開園が計画されており、この【あずまや】は地域のふれあいの場として活用されます。

新年のご挨拶

笹川自治振興会 会長 竹内康博

明けましておめでとうございます。東京笹川会の皆様にはつつがなく新年を迎えられたこと心よりお慶び申し上げます。



旧年中はふるさと笹川との交流事業などで役員さんを始め皆様には大変ご協力頂き誠にありがとうございました。

本年も皆様と交流の機会を少しでも多く持ちたいと思っておりますのでどうか宜しく願い申し上げます。

年明け喜んでおりますのは、東京笹川会さんによるこの「笹川だより」が発刊されたことです。心よりお祝いと御礼を申し上げます。

時の流れは止まりませんが、皆様の胸奥にあるふるさと笹川の原風景と人の和を重んじる心を大切に守って行きたいと微力ながら取り組んでおります。

笹川米やワサビ、ミョウガ、ウド、ゼンマイ、ワラビなど懐かしい産品や郷土芸能もそれなりに伝承されており今後の行事に織り込んでいくつもりです。

お盆などに帰省される方には、地区公民館や民泊などお手軽な宿泊所等を用意しております。

昨年来、笹川の空き家に若者達が入居(1～2例)し、地区、町内あげて大歓迎しております。今後、更に体制を固めUターン希望者の方々にPRをしていきたいと思っております。

いずれにしましても皆様方のご理解とご協力があればこそそのものと認識を致しております。

何卒宜しく重ねてお願い申し上げます。

結びになりますが東京笹川会の皆様の、今後益々のご健勝とご多幸をお祈りしまして年頭の挨拶とさせていただきます。



【共生の里 さゝ郷】紹介

－ 宿泊設備も完備したふれあい施設 －

笹川小学校跡地に、平成13年11月に多目的施設として【共生の里 さゝ郷】が出来ました。

体育館、研修室などがあり、郷里の方々は元より、富山県内からも多くの方々が利用されています。

昨年、宿泊施設も出来ましたので郷里への里帰りなどにもご利用頂けます。



全景



プール(8月のみ利用可)



ゲートボール場

【笹川友愛会 旅行案内】

－ 2010年3月23日～24日に決定 －

恒例の笹川友愛会の旅行、今年は以下の通り執行されます。ご参加頂、ご実家・ご親戚そして郷里の方々の親睦を深められては如何でしょうか。

日 程: 2010年3月23日(火)～24日(水)
 場 所: 草津温泉
 宿泊先: 「ホテル一井」
 費 用: 約16,000円(東京笹川会会員)
 (但し、合流までの交通費別)
 観光先: きこの村、無言館、懐古園、寅さん会館
 鬼押し出しなど
 合 流: JR上田駅
 (東京駅10:04発「あさま546号」
 ～JR上田駅 11:31着)

写真は、昨年の湯田中温泉行のモノです。



松代大本営予定地だった防空壕 見学

笹川ならではの、宴会余興



宴会風景



【文化とのふれあい】



秋祭り 盆踊り復活

8月29日(土)に秋祭りが催され、祭事、獅子舞につづき、10数年ぶりに盆踊りが復活し盛大な秋祭りとなりました。

笹川では、盆踊りを10数年ぶりに復活させるため、8月には数回の盆踊り練習会も開かれました。

また、近隣の皆様にも各地にポスターを貼ったり、知人を通じて参加をお願いしながら準備を進めて参りました。



その甲斐があって盆踊りの輪が4重にもなる盛り上がりとなり、地元TVのニュースにもなりました。



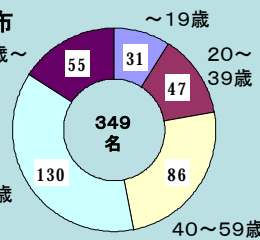
村廻りの獅子舞



やぐらを囲んで

世帯数と人口分布

世帯数 130



【自然とのふれあい】



黒菱山 登山道の開拓

笹川

黒菱山(標高 1,043m)は、笹川の源流部に所在する山です。

登山道は、朝日町に住む折谷洋一さんが地元の許可を得て数人の仲間と伐開を開始し、一昨年(平成20年)5月にチロル山の会の助力も得て、25名で一気に山頂まで伐採しました。【山と溪谷誌】平成21年6月号に佐伯郁夫氏による紹介記事が掲載されたのをきっかけに登山者が急増しました。

また、昨年6月、登山口に佐伯郁夫氏の寄付によるモニュメント(書:竹内俊一氏)が建立されました。

— 笹川 滝めぐり —

笹川は飛騨山系の最北端に位置し、その山、谷は、流紋岩からなる断層崖を形成しております。急傾斜の谷を雨水、雪解け水が長い年月を経て岩の上の土を流し、大きな岩、堅い岩盤が崩れずに残り、川はその岩の上を流れている様相です。

このような地形のため、笹川の上流には大小の滝が存在します。

代表的な滝は南保富士(山)(標高:727m)に端を発した七重滝谷川(笹川の支流)に、七重滝「シツチャタキ」と呼ばれる滝です。流紋岩からなる断層崖を7段になって落下していることからこの名称がついており、その落差は約60メートルに達しています。(他に、杉谷・大滝、壺の谷・大滝など多数あります。)



黒菱山 登山口モニュメントと親知らずの滝

亀の淵谷 焼山の滝 (黒菱山登山口付近)



七重滝

【編集後記】

この度、笹川だよりを創刊致しました。このようなモノを作っていると、高校生時代に青年団活動で機関誌【石垣】の編集に携わった頃を思い出します。

小生は、高校卒業後、東京、神奈川に在住しておりますが、最近、帰省する機会が多く、そこで、郷里の皆様が【郷里の活性化】に取り組まれている姿を多々拝見しました。微力ですが、そのことを少しでも皆様にお伝えし、一人でも多くの方々に郷里への思いを抱いて頂ければ幸いです。

インターネットに【共生の里 笹川】と言うホームページも掲載しております。

<http://www.ubique.dynalias.com/~sasakawa/>

次号は4月、東京笹川会懇親会案内と、ライフスタイルを予定しております。

(長井清武 記)